

会議録 (グループホームうみかわ 運営推進会議)

作成日 令和4年5月31日

期 日	令和4年5月23日(火)	時 間	14:00 ~ 15:00
場 所	西海地区公民館 研修室		
配布者 (7名)	利用者・家族	0名(利用者) 0名(家族)	
	地域代表者	2名	
	市職員	2名	
	包括職員	1名	
	法人役員	1名	
	施設職員	1名	

会議要旨

議 題 (テーマ)	① 入居者様の状況について
	② 前回、運営推進会議からの動きについて
	③ 意見交換 (テーマ:看取りケア)
	④ その他
	<p>① 入居者様の状況について</p> <p>◇退去者 1名 (※グループホームでの看取りケアにて永眠)</p> <p>◇新入居者 2名</p> <p>・介護度1の方、5名 ・介護度2の方、5名 ・介護度3の方、4名</p> <p>・介護度4の方、3名 ・介護度5の方、1名</p> <p style="text-align: right;">(計18名) 平均介護度 2.4 (※前回 2.88)</p> <p style="text-align: right;">平均年齢 87.4歳</p> <p>◇事故報告 (1件) 4月29日19時30分頃、自室入口付近にて転倒。 結果、第2腰椎圧迫骨折の診断。</p> <p>◇インシデント=重大な事故につながる可能性のあるケース (14件)</p> <p>・転倒 14件</p> <p style="padding-left: 20px;">※10時~18時の間の発生がほとんど</p> <p style="padding-left: 20px;">※特定の方と言うわけではなく全体的にリスクがある</p> <p style="padding-left: 20px;">※椅子やソファからの立ち上がり、自室内や入口付近での発生が多い傾向にある</p> <p>② 前回、運営推進会議からの動きについて</p> <p>(1) 3月16日 西海小学校6年生とのリモート交流(認知症サポーター養成講座)</p> <p>(2) 3月19日 あたカフェ(認知症カフェ)開催事業者情報交換会 ※書面開催</p> <p>(3) 3月29日 地域密着型事業者ネットワーク会議へ参加</p> <p>(4) 4月中 天候に合わせてお花見ドライブや畑作業を実施</p> <p>(5) 5月1日 西海地区日吉神社 春季大祭(参拝)</p> <p>(6) 5月1日 グループホームうみかわ開設10周年記念イベント</p> <p style="text-align: right;">※内部でのお祝い、地域へは回覧文章、その他外部へはホームページにて報告</p>

- (その他) ・うみかわ便り (4月号、5月号を家族へ配布)
・あったカフェ便り (5月に西海地区回覧)
・誕生会を各入居者の誕生日に合わせて開催
・訪問制限継続中 (※看取りの方に関しては緩和基準の設定)
・4月より理髪受け入れ再開
- 等

③ 意見交換 (テーマ: 看取りケア)

(施設職員) 看取りケアに関して、現状では病院での対応として面会が行えないため、看取り時の面会制限緩和を行っている当法人施設での看取りを選ばれる方も多い傾向にあります。病院でも面会が行えるようになれば、医療的配慮も行える病院を希望されるケースも再度、出てくると思われま

(参加者) 関わった体験上、人生を生き来った方の最期は比較的、穏やかに行かれる印象があります。

今回、報告していただいた看取りのケースについても、SNSを活用したり、近場や遠方のご家族みんなが関わっていて、ご本人も、ご家族もすごく満足感があったのだと思います。

(施設職員) ご家族も大変熱心に関わってくれていたので、職員としても連携しやすかったですし、穏やかで暖かい雰囲気の中での看取り対応が行えたと思います。

職員の中には看取りケアの経験があまりない介護士も多いですが、今回の振り返り機会に前向きに関わっていけるようになれば嬉しく思います。このコロナ禍の状況を機会に関わりにおいて、在宅での看取りの選択をされる方も増えてくるかもしれませんので、グループホームでの看取りは在宅での看取りに近い形でもあると思いますので、何かしら還元していけるものがあればとも考えています。

(参加者) 病院で会えないままの看取りよりも、在宅でできる範囲での看取りを希望される方も増えているとどなたからか聞いたことがあります。そういう時代になりつつあるのかもしれないね。

(参加者) 現状でグループホームに入居されている方のほとんどが、グループホームでの看取りを希望されているのですか？

(施設職員) 意向確認は行いますが、皆さんと言うわけではありません。早い段階ではイメージも出来ず、決められるものでもありませんし、あくまでも意向なので、状況次第で気持ちも変わっていきますので、あくまでも選択肢の一つとして説明させてもらっています。

前段階で、介護度が上がった際に、特別養護老人ホームへ移動を希望される方もいらっしゃいます。

(参加者) 介護度が4、5になった場合、一律に特別養護老人ホームへ移動する傾向にあるはあるのですか？

(施設職員) グループホームの基準上、介護度が5になっても利用はできます。経済的な理由であったり、グループホームの設備上の問題や、食事面の配慮

など、介護度によって柔軟に支援できない場面もでてきますので、あくまでも希望に添った選択をしていただいています。

(参加者) それでもグループホームの方が良いと希望される方もいらっしゃいますでしょうね。

(参加者) 在宅で、子ども達が遠方において、老夫婦だけで生活している方も多くいると思いますが、
そういった世帯で看取りを行うことになった場合、施設での看取りを希望したら対応してもらえるものなのでしょうか？

(施設職員) 施設としては直ぐに受け入れて対応できる事は難しいと思います。包括事業所的にはどう対応するのでしょうか？

(参加者) 子供さんが遠方に居られる方、また、コロナ禍で帰省が難しい状況にある中で、家族の役割としての相談も、包括として行うケースもあります。現状では家政婦の利用のニーズが高くなっています。介護保険サービスと家族の出来ない支援の隙間を家政婦や自費のヘルパーに埋めてもらうケースも多くなっています。

(参加者) しかし、ヘルパーさんが少なくて、頼んでも対応してもらえないケースもあるんですよね。

(参加者) 在宅ケアといいつつも、訪問看護や、ヘルパーなどの支え手の基盤整備が出来ていなければ難しいですよ。

(参加者) 昔と違って、家族の形態や考え方の変化から、ご家族の主張や、全く身寄りのいない方のケースなどの大変なケースも増えてきている印象があります。

(参加者) そうなると、身内よりも隣近所の関係や見守りの目も大切になってきますよね。色々な考えがある中で難しい面もありますけどね。

(参加者) 地域にそんな方がいた場合は、まずは包括に相談すればいいのですかね？

(参加者) まずは包括につないでいただいて、私達では解決に至らない場合は、必要な関連機関につなげて対応していく形になります。市役所にも福祉事務所に総合相談窓口も出来ましたのでそちらに相談しても良いかと思います。

(参加者) 子供から高齢者、障害関係まで全てですからね。対応も大変でしょうね。

(参加者) 市で認知症高齢者等見守りシール交付事業が始まりますね。(2次元コード付きシール)

(参加者) 既に問い合わせもあるようですね。認知症関連で、行方不明になった場合に家族の心情として、切実な思いから藁をもつかむ気持ちもあるでしょう。

(参加者) 行方不明になった場合、直ぐにみつけてあげることが大事ですからね。

(参加者) そういった場合に服装とかを聞かれてもパニックになって思い出せないこともあるようですね。何度か行方不明に合った事のある方のご家族が、「今日のお父さん」として毎朝、写真を撮っておく(服装)事を習慣にしている方もいました。行方不明になると大変ですよ

(参加者) 今年度も地域の防災について、近年に起きた地区の土砂災害を例に、話し合いと、訓練を予定していますので、グループホームさんにも参加をお願いできればと思います。

(施設職員) 参加を予定させていただきます。

(施設職員) 貴重なご意見ありがとうございました。
次回は7月25(月)を予定していますのでよろしく願いいたします。
本日はご参加ありがとうございました。